

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	事業所から
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14			1	施設内の様子は分かりませんが、写真などを見ると楽しそうにしており、子どもの通所を楽しみにしているようで、満足しています。	コロナ禍であるため、【あおぞらクローバー】にてできる限り室内の様子が分かるような写真を集めて掲載させていただきました。今後も継続して行います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13			2		配置だけでなく、一人ひとりの支援技術向上を怠りません。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14			1		【あおぞらクローバー】は、子ども達の表情だけでなく、活動の全体がわかるもの、室内の様子が伝わるものを選び作成しています。今後も伝わりやすい紙面作り心掛けます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	1		1	中に入ることができず、分からない	【あおぞらくろーばー】にて室内の様子などお知らせいたします。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	14	1			子どもにあった支援計画を立てている。	児童発達支援管理責任者に向け、県の子ども部会でも研修会を実施予定です。私たちも、更なるスキルアップを目指します。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15				子ども、家族に寄り添った支援計画を立てている。	発達支援・ご家族支援だけでなく、すべての児童が「地域の子ども」として根付いていけるよう地域への働きかけも考えていきます。今後も、発達ニーズに沿った支援計画書作りを行います。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14				支援計画に沿って実施している。	毎朝、計画書の確認を行っております。
	8 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	14	1			毎回工夫してくれています。	子どもらしく思いきり遊べる事、楽しめる事、遊びの中から学ぶことを大切に、今後も工夫を凝らします。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	事業所から
適切な 支援の 提供	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		3	9	土曜にはないので、わからない。 感染症の流行を考えると、集団での交流機会を作ることは難しいと思う。 対象ではないので、わかりません。 コロナで実施が難しいと思っています。	こども園、幼稚園との交流会は毎年実施していました。しかし昨年度、今年度はコロナ予防のため、実施しませんでした。コロナが落ち着き、子ども達の安全が確保できれば、必ず再開します。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1				・今後も丁寧な説明を心掛けます。ご不明な点はいつでも、お問合せください。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14				支援計画の立て直し、更新されるときには説明をもらっている。	支援内容を更に向上させ、様々な支援内容をご提示できるようスキルアップします。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングⅣ等)が行われているか	6	4	1	4	うちの子は対象外か？(手帳なし)	家族会や保護者の皆さまの交流の場についても、昨年度同様実施が難しい現状でした。また皆さんと楽しい交流ができる事を楽しみにしております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15				活動内容、家庭での様子を共有してもらっている。 毎回利用時に、細かいところまで体調面を気遣っていただいたり、その日の活動参加具合などご説明いただき、助かっています。	今年度は【支援の見える化】に取り組みました。計画書に添った支援がどのように行われているのか、今後も写真や動画を使って保護者の皆さまと共有したいと思います。
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1			6ヵ月毎にモニタリングを行ってくれ、助言や支援をしてもらっている。	定期的な面談だけでなく、ご相談はいつでもお受けできます。是非お声かけください。 電話や直接面談だけでなく、オンライン等新しい生活様式に基づいた方法も取り入れていきたいと思っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	事業所から
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	4	5	コロナ禍のため、制限されている。自分としても参加できない。 コロナが終息したら、お願いしたいです。	一日も早くコロナが終息し、また皆さんと楽しい交流ができる事を楽しみにしています。 【今できる方法は何か】を常に考え、実施していきたいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15				相談すると親身になってくれ、スタッフ同士で情報の共有をして、すぐに対応してくれる。	育児等での不安、その他お困りのことがありましたら、いつでもご相談ください。もちろん、個別の相談も随時可能ですので、気軽にお声かけください。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1				活動の様子が、目に浮かぶような記載を心掛けています。今年度は連絡帳に写真を貼る試みも実施しました。今後もスキルアップを図ります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14			1	広報、会報で子どもの活動様子を知ることができてうれしい。Instagram、Facebookなどで情報を頂いている。写真が載るのも楽しみです。	毎月発行の【あおぞらくろーばー】や、広報誌、Facebook、Instagram、また法人のホームページ等活用し、子ども達の様子をお届けしています。楽しみにお待ちください。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15					毎年個人情報の取り扱いについて勉強会を実施しています。今後もお客様の大切な個人情報の漏洩がないよう、注意し取り扱います。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13			2	土曜日にはないようなので、わからない。	いずれのマニュアルも完備されています。訓練の様子については、今後も広報誌や【あおぞらくろーバー】等でお知らせいたします。ご不明な点は、いつでもお問合せください。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			1	避難訓練を行ったことを、連絡ノートや“あおぞらくろーバー”、広報誌で教えて頂いている。	自主災害防止委員会が主となり、年間を通し、机上や実際の訓練を実施しています。実施状況は、広報誌や【あおぞらくろーバー】等でお知らせしています。なおご不明な点は、いつでもお問合せください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	事業所から
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15				<p>とても楽しそうにニコニコしながら通っています。</p> <p>同年代の子ども達との触れ合いや、毎回の活動を楽しみにしています。</p> <p>とても楽しみにしています。</p> <p>スタッフの皆さんが毎月工夫を凝らして活動を考えて下さっているので、楽しく通所出来ている。</p>	子ども達が心から安心して、自分らしく活動できるよう今後も力を注ぎます。また、保護者の皆さまにも安心してお任せ頂けるよう、支援技術の向上を図り続けます。効果的で楽しい活動を、今後も創造していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	15				<p>色々な支援をしてもらって助かっている。</p> <p>最近は薬の影響で眠気が強くなかなか活動にも参加できない日々でしたが、そんな中でも少しでも経口練習して頂いたり、本当にありがたく思います。</p>	子ども達のパワーにに負けない様、元気と笑顔いっぱい関わっていきたいと思います。子ども達に愛情をたくさん注ぎ続けます。

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。